

ふれあい記録

実施日：平成 29 年 12 月 6 日（水）

当番者名：新海 昭 神谷 順子

コース名：独自コース 54 番「仙元山から嵐山溪谷」

(通し番号 第 136 回)

天 候：快晴

参加者名：相川 勲、市瀬 英雄、岩崎 宗郷、江口 正彦、小俣 悦男、神谷 順子、功力 満紀子、柴崎 幸治、新海 昭、西村 寿文、根本 邦子、細矢 清志、堀井 克子、宮原 さち子、宮原 宏至、山腰 策次郎、吉田 千代

<ビジター>：鶴岡 重典、林 洋、船橋 エイ子、野口 和夫

計 21 名（内、男 14 名 女 7 名）（五十音順）

交 通（時刻）：東武東上線 小川町駅 改札出口 午前 9 時 15 分集合

<往 路>：東急東横線 横浜駅 6:56 発 [通勤特急 森林公園行]→森林公園駅 8:51 着東武東上線に乗換、同じホームから 8:59 発 [急行 小川町行]→小川町駅 9:11 着

<復 路>：休養地入口バス停 15:21 発→武蔵嵐山駅 15:35 着

武蔵嵐山駅(東武東上線[池袋行])15:46 発 →森林公園駅 15:51 着[急行 元町中華街行]16:08 発→横浜 18:08 着。

コースタイム（時刻）：

小川町駅 9:20 スタート～仙元山登山道入り口 10:00（体操）～仙元山 10:40 着～青山城址 11:10 着、～大日山 11:40 着(昼食 30 分)12:10 発～物見山 12:25 着～小倉城跡 13:30 着（オレンジ）～駐車場(トイレ)13:45 着～溪谷展望台 14:25 着～冠水橋 14:30 着～飛び石 14:45 着～バーベキュー場 14:50 着(コーヒー)。休養地入口バス停で解散。

みどころ：① 昔の風情を今に伝える街並み小川町。

② 仙元山・大日山・物見山と標高 300m 弱の手入れされた植林帯。

③ 戦国時代に戦いの為にだけに存続した砦の類なのであろうか？青山城跡（別名割谷城）と尾根伝いの小倉城跡。

④ 庚申信仰の盛んだったこの地の登山道沿いに佇む庚申塔。

⑤ 槻川沿い嵐山溪谷の溪谷美と紅葉。

自然観察：朝、登山道入り口の草むらは真っ白に霜が降りていた。

植林帯の中、落ち葉を踏みしめてサクサクと歩く登山道は心地よかった。

朴の木の大きな落ち葉と 10cm 程の大きな朴の実も落ちていた。

槻川の穏やかな水の流れに漂う落ち葉と岩畳。

川面をつつく鷺と羽を大きく広げて飛び立つ鷺の姿。

特記事項：豊かな自然と外秩父の山々に囲まれ、町の中央に槻川が流れる小川町は 1300 年の歴史を誇る小川和紙、ユネスコ無形文化遺産に認証された「細川紙」をはじめ、酒造・建具・裏絹などの伝統産業で古くから栄え「武蔵の小京都」と呼ばれている。槻川は源流点に大きな櫟（槻）の大木があったのが名前の由来だそうです。又、嵐山町は比企丘陵の中核部を占めており 山・溪谷・台地ありと変化に富んだ自然の宝庫で「京都の嵐山に似ている」といわれ町名となり緑と清流の町「嵐山」を代表する景勝地となっている。